

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（技術分野）】

書名 項目	<b>新編 新しい技術・家庭 技術分野</b> <b>未来を創る Technology</b>		2 東 書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・学習の流れが、「目標」から「レッツスタート」「学習課題」「まとめ」まで、見開きで同じ位置に配置され、生徒が見通しを持てる構成になっている。 ・「問題解決のプロセス」に沿って見通しを持って取り組めるよう見開きで構成されている。「問題の発見」「課題の設定」について、キャラクターによる漫画によって興味・関心を持って検討できるように配慮されている。また、製作・制作・育成の手順は、写真を用いて学びたくなるよう示されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動を数多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討するための発問を設けたりするなど、生徒の思考を広げる工夫がされている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・節の最後に「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」を設け、学習を振り返り、次の学習に向けて、達成感を得ながら主体的に取り組める配慮がされている。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野に関係の深い仕事に就いている人のメッセージを紹介し、勤労観・職業観を育む工夫がされている。 ・「すごいぞ！技術」では、内容に関連する最先端の技術に携わる「技術の匠」を紹介し、学習内容が未来を支える技術につながることを技術者の姿とともに紹介している。巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習内容を広げ、将来や生活に生かしてほしいというメッセージが掲載されている。	
その他	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れを統一的に示すとともに、ワークシートなどの記述例が掲載されている。各内容の問題解決例では、統一された問題解決の流れを示し、自分自身の問題解決へ、見通しを持って取り組めるように工夫されている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現>		
	○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・本文・イラスト・写真・図表等は、関連を持たせた構成となっている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・基本構成は、授業が組み立てやすい「見開き構成」になっており、育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「目標」として明確に示すことで、指導と評価の一体化が図ることができるように工夫されている。 ・技術の見方・考え方を働かせた深い学びになるように、「最適化の窓」をガイダンスに設置するなど随所で工夫がされているほか、技術による問題解決が発達段階に応じて進めることができるように配慮されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（技術分野）】

書名 項目	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する		6 教 図
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各項目に「めあて」が生徒目線の言葉で提示されており、つけるべき力が明確になるよう工夫されている。 ・「問題解決の進めかた」として、問題の発見から解決までの流れがイラストやイメージ図によってまとめられており、思考や手順の流れが明確に示されている。 ・各分野に「設計・計画シート（計画・育成シート）」が同封されている。 ・安全指導に関わる内容が、各分野に配置されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「先輩に聞いてみよう」や「技ビト」といったコラムがあり、生徒が思考を深めたり、学びあいの機会として利用したりすることができる工夫がされている。 ・分野Bの生物の育成を管理する場面では「環境を調節する技術」「成長を管理する技術」と分けて説明されており、生徒の思考を広げ深める工夫がされている。 ・全ての分野で問題の解決に関するページが多く配置されており、思考の深まりを重視した構成になっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各分野において「技術を見つめよう」から「技術をいかそう（情報の技術分野のみ①、②の2部）」そして「未来をつくろう」の流れになっており、学習指導要領における課題解決に向けた手順を示す構成となっている。 ・各分野における「まとめ」のページでは、知識・技能や思考・判断・表現が身につけているか確認できる「まとめ」が設置されている。 ・章末の「やってみよう」のページでは、学びを実社会にどのように活かしていくかを考える機会があり、自分が生活していく未来に向けて積極的に関わろうとする態度の育成に繋がる工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・冒頭に他教科との繋がりが示されている。 ・二次元コードを読みとることにより、教科用図書をより多くの動画や資料を扱うことができる。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・具体的な写真や図表の資料があり、丁寧に解説されている。別冊の資料では、細かくイラストや写真で各作業が解説されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・書体にはUDフォントが使用されており、重要語句の色分けにも色覚特性に配慮した配色となっている。 ・見開きページの右側に分野と章ごとに分かれたインデックスが配置されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【技術・家庭（技術分野）】

書名 項目	<b>技術・家庭 技術分野</b> <b>テクノロジーに希望をのせて</b>		9 開隆堂
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・「学習の流れ」を4コマ漫画で紹介し、学習の見通しをもてるように工夫がされている。 ・章（節）ごとに学習課題が提示されている。 ・「トレードオフ」を各分野にアイコンとともに多数掲載しており、理解と意識づけを促している。 ・ガイダンスから出た見方・考え方の視点をA～Dすべての内容で繰り返し扱っており、見方・考え方を働かせる思考パターンとなるよう工夫されている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・コンピュータ利用に関する「安全」のページがある。 ・見方・考え方ははたらかせられるワークシートがA～Dすべての内容で用意されている。 ・作業時の安全について、生徒が考えられるように工夫されている。 ・巻末には「命を守る技術」が記載されており、学習したことを社会につなげられるようになっている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・「学習の目標・学習課題」「学習内容」「CHECK」の順序で各ページが構成されおり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。 ・巻頭では、知名度の高いアニメを技術の入り口で扱うことで、技術を身近なものに感じられるような工夫がされている。 ・技術の出口としてすべての内容の終わりに「つくり手」と「社会の人びと」の視点が掲載されており、社会に視点を広げられるようになっている。 ・学習のまとめのページがあり、3観点について、確認できるような構成になっている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各内容のはじめに小学校や他教科とのつながりが記載されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・二次元コードが豊富にある。 ・UDフォントが使用されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・「技術の見方・考え方」における「社会からの要望」を「Wants」という小学校から使っている言葉に置き換えている。		